

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



シンボルマーク

根南福祉だより

39号

(広報部)

「地域の福祉力を高めるには」推進委員研修会開かれる

8月6日、富士根南公民館において、研修部主催の推進委員研修会が開催されました。68名の推進員が出席し、地域福祉や推進委員の役割、地域で起きている福祉問題への気づき、情報の共有化、解決に向けての取組み等について学び、話し合いが行われました。

講話1 「推進委員の役割について」市社協 小林徹哉氏

地域福祉とは、地域の中でみんなで支え合い、誰もが生き生きと暮らせる社会をつくることです。

地区社協は、自治会をはじめ各種団体やボランティアで構成され、支援を必要とする人を支え合ったり、福祉の問題を学び合ったり、住民どうしのつながりを強くするために触れあったりする中で、地域住民で解決を図って行く事を目標に活動を進める団体です。

推進委員の役割は、地区社協が取組む、住民どうしのつながりを深める「ふれあい見守りネットワーク」、福祉に関する問題について理解を深める「福祉講座」などに積極的に参加していくことです。また、地域の中で手助けしてもらえ活動や支え合いの仕組みづくり、健康づくりを進めていく生活支援体制整備事業について報告しました。



講話2 実践報告「人にやさしいまちづくり」研修会 (大岩1区)

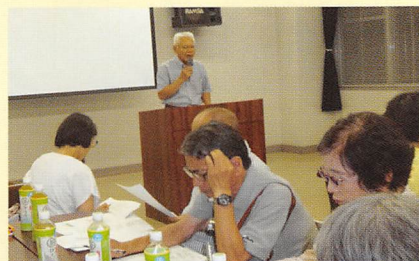
報告 福祉委員 岩見彰貞氏

大岩1区には一人暮らしの高齢者の増加や子育て世代の孤立、特殊詐欺被害などの福祉課題があります。

新年度の始めに、住民とのつながりが一番強い班長さんや区役員の皆さんに現状を知ってもらい、福祉活動を理解して”さりげない見守り活動”を実践する中で、地域の人たちが触れあい、支え合う風土づくりの向上を目的に実施しました。

この研修会の効果としては、福祉に関して考え、現状と課題を地域に浸透させる良い機会となりました。また、見守りを通して、日常の近所付き合いの大切さが理解された事などが報告されました。

講話の後、各区あるいは各地域ごとに、グループワークが行われ、大岩1区のような研修会を自分の区でも検討したいという声や地域の福祉課題を何とか前に進めようと悩みながら取組んでいる様子が報告されました。



三世代交流ふれあいまつり

三世代交流部長 村松真由美

10月26日、前日の雷雨がうそのように良い天気にも恵まれました。ここ2・3年台風や大雨にたたられて「ふれあいまつり」が開催できるか気が気ではありませんでした。

ステージ発表では根南小4年生140名の迫力のある花笠踊り、現代曲をアレンジした伝統文化部の箏の演奏、会場が一体となって楽しんだ吹奏楽部の演奏など子供たちの元気いっぱいの発表は保護者だけでなく全ての人を感動させました。

発表してくれた生徒さん達だけでなく裏方として司会をやってくれた生徒会の皆さん(打ち合わせになかった紙芝居終了後に小学生にインタビューをしてくれたアドリブにはビックリ)前日の準備やグラウンドの整備等いろいろお手伝いをしてくれた根南中の皆さんありがとうございました。

軽スポーツで汗を流し、健康チェックで自分の今の状態を知り、元気のいい子供たちとふれあう、そんな「三世代交流ふれあいまつり」に来年もまた大勢参加していただきたいと思います。



開会式



根南中伝統文化研究部 箏の演奏



根南小4年生 花笠踊り



根南中吹奏楽部 吹奏楽の演奏



健康コーナー 血圧測定



小泉保育園 園児の絵展示

スキンシップと笑いの会話で認知症介護 福祉講演会開かれる

研修部長 坂本英俊

令和元年度の福祉講演会は、11月23日(土)富士根南中体育館で、興徳寺(柚野)の松永泰然住職を講師にお迎えし「それぞれの役目」をテーマに開催しました。

54歳で弟さんを、55歳で奥様とお父様を相次いで亡くすという運命に遭遇しました。深い悲しみを味わうと人に優しくなれる、役目を果たす為に、今まで生きてきたという悟りを胸に、常に、寛容と優しさで、認知症と診断されたお母様の介護を続けてきました。現在でも11年前から症状が進行していないのは、母親の呼び方は今でも「おかあちゃん」、スキンシップと笑いの絶えない会話で接しているからであり、認知症の症状が進行しにくいという体験を話されました。介護される側のお母様も、何の心配や不安もなく、人として幸せの状態だということに住職に感じさせており、お母様自身も、自分の役目を果たしているというお話は、大変説得力がありました。

また30年後の景観を仲間と夢見て、柚野の山を広葉樹の里山に戻す活動報告と結びに、過去を悔やまず、未来に怯えず、今を生きるという人生指標を会場の皆に送られ、参加者127名全員の方が、心に響く法話に耳を傾けた時間でした。

開催にご協力いただきました関係者の方々に、心より感謝申し上げます。



参加者の声

【50代女性】

介護について不安はありますが、泰然さんのようにできたらいいなと思います。

不安でないことが幸せであることを改めて気づかされました。

【60代男性】

今を生きる...私も賛成です。

自分の役目を果たす為、今を全力で生きたいと思います。

【70代女性】

これからいつ自分が認知症になるかわからない。

そんな時にどの様に生きたら良いかわからない。

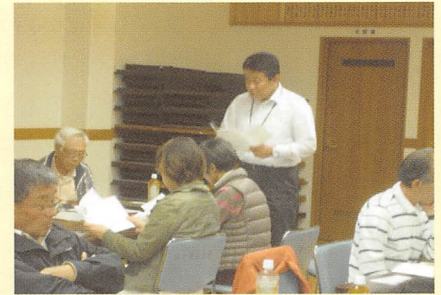
生きる事の難しさ、でも精一杯生きたいです。



上小泉区福祉会で情報交換会

この交換会は、年に一度開催されるもので、区長を最終責任者とし、各町内、各班において、問題が生じた場合に、各町内の民生児童委員、各区役員・福祉委員が相談して区長に報告するものです。今回のグループワークでは、各町内に分かれ、これまで一年間(ふれあい訪問や支援)の反省を話し合いました。又、今後の方針や新たな「見守り」「支援」が必要な対象者確認のため、活発な意見や情報交換が行われました。

この会には市社協から2名、地区社協から4名が招かれ、市社協の小林徹哉様から生活支援体制整備事業についての話がありました。地区社協の川原崎仁顧問からは見守り活動の事例を聞き、見守り活動の難しいケースもあることに参加者は気を引き締めていました。



寄り合い処通信

小泉4区 寄り合い処

会場 小泉4区 区民館
 時間 第2月曜日 9:30~11:30
 代表 深見 晃

子どもから大人まで誰でも参加できます。情報交換、友だち作り、歌や体操、心身活性化のための場です。参加者の要望をとり入れて楽しくやっていきます。

今年5月、市内123番目の寄り合い処として開設しました。



負けるが勝ち!じゃんけんゲーム



輪投げとホールインワンゲーム

ホームページの開設

URL : <http://fmsyakyo.com>

この度、富士根南地区社協ではホームページを開設しました。地区社協の活動内容、行事予定、行事の実施報告、お問い合わせなどの情報をリアルタイムで発信していきます。

ホームページがより充実できるよう、皆様からのご意見、ご提案などをお寄せいただきますようお願いいたします。

